

小野チャレンジ教室

けん玉のワザにチャレンジ！

広報
小
野

第205号
編集・発行
小野公民館
29-2412
館長
坂本 幸枝
主事
鯉川麻衣子

小野振興センター
29-2201

人口・世帯数
()は前月比
707人(-4)
291世帯(0)
R3.6.30 現在

7月24日(土)に開催した第2回目のチャレンジ教室は、講師に川述さんをお迎えして「けん玉チャレンジ！」を行いました。

たかが、けん玉？ いえいえ。されど、けん玉！なのです。ひざを曲げ、ぐつと沈めた後、身体全体を使って伸ばす勢いでけん玉を動かします。体幹と集中力が必要なのです。

最初に、ペットボトルキャップと磁石を使って「カチャットけん玉」を作りました。ひざを使つてしっかりと真上に上げることができれば、あとは磁石の力で「カチャット」くっつきます。まことに果敢にチャレンジしていました。

その後「けん玉の持ち方」から教えて頂き、ワザのお手本を見てから練習しました。競技用の公認けん玉ではなかったので、初心者には難しかったと思いますが、「大皿」「中皿」「とめけん」や、「もしもしかめよ♪かめさんよ♪…」のりズムで大皿と中皿交互に乗せ換えるワザ「もしかもめ」等に果敢にチャレンジしていました。時間が足りなくなつて、検定まで出来ず残念でした。時間が足りなくなつて、検定まで出来ず残念でした。子どもたちは「あきらめずにやつたら大皿に乗つたのでうれしかった」「家でも練習したい」と感想がありました。



知らないうちに、拡めちゃうから。
STOP!
感染拡大
— COVID-19 —

資料:厚生労働省 HP より



【参加者募集中】オンライン人権学習会

演題：部落史研究と部落史学習をどうつなぐのか

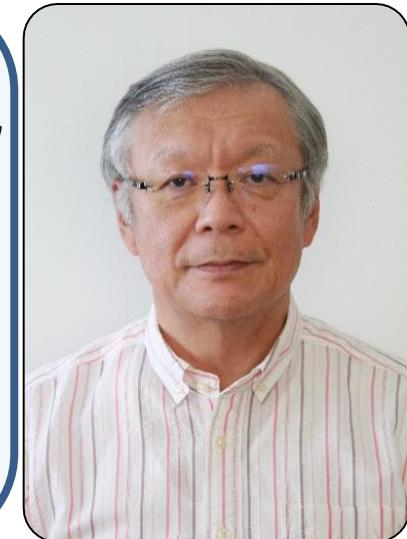
オンライン人権学習会

講師 一法師英昭さん

8/4(水)

14:00~15:30

- ◎お申込みは
公民館 29-2412 まで
- ◎ご来館時はマスク必着でお願い
します



大分県内高校の日本史の教鞭をとる傍ら、長年、県内部落史について研究を重ねてこられた一法師さんの講演を、今回は中継でつなぎ、映像での講演会会場として小野公民館で行います。どなたでもご参加いただけますので、ぜひご来場ください。

【お知らせ】ひた生活支援相談センターより

9月9日 巡回相談会のご案内



【イラスト著作権 がくげい】

ひた生活支援相談センターでは、様々な理由で生活にお困りの方や、病気などで不安を抱えている方、また、就労などで困っている方の相談会を開催します。

相談は無料で予約は不要です。

期 日:令和3年9月9日(木曜日)

場 所:小野公民館

時 間:午前9時30分~午前11時30分

【お問合せ先】ひた生活支援相談センター

相談員 江藤 TEL:0973-22-5299

3日(火) チャレンジ教室
4日(水) オンライン人権講演会
16日・17日・19日・20日
小野わくわく教室(後期)

※小野地区社協主催の
「すずめの学校」は9月まで休会です

※新型コロナウイルス感染状況によ
っては、予定が急きょ変更になる場
合があります

地域おこし協力隊コラム② 《Hekuso あんちゃん》

皆様、この暑い中いかがお過ごしでしょう。日田は暑い暑いと聞いていましたが、やはりどうしても暑いですね。あまり暑い暑いと口にすると、余計に暑さを感じる気もしますが、暑い暑いと口に出さずにもおられず、あいさつ代わりに暑い暑いと言ってしまいます。

ですが、特にここ小野地区では、朝夜、涼しく過ごしやすいことにびっくりしています。こんなに寒暖差があるとは思いませんでした。日田梨が甘くておいしい理由がよく分かりました。梨も人間と同じように昼も夜も呼吸しているとのこと。夜の気温が低いとゆっくり眠ることができ、エネルギーの消費が抑えられるそうです。それで日中に光合成で蓄えた有機成分を果実の成長にまわせるようになるので、甘み、香りの強い梨に育つとか。

暑い暑いと口にして言っているのは、甘い甘い梨が育つ呪文だと思って、まだまだ続く暑い暑い夏を過ごしたいと思います。皆様、熱中症にはくれぐれもお気を付けください。

小野地区協力隊 安東 宣子

成人セミナー 防災講話【満員御礼】 ご聴講、ありがとうございました

講話を開催しました。

九州各地の現場で気象予報士として活躍してこられた経験からのお話は、たいへん分かりやすく、様々な事象に目が向ける事が出来ました。「自分事」として「『温暖化対策』と『減災』に取り組むきっかけとなつたのではないでしょうか。



「情報を持つのではなく、取りに行かないといけない」⇒「気象庁 キキクル」の「危険度分布情報」を紹介してもらいました

連日の熱中症警戒アラート！ 熱中症に気を付けましょう！！

夏真っ盛りの暑さが続いていますが、みなさんお身体ご自愛ください。熱中症予防とコロナ感染防止にも気を付けなければいけませんが、「屋外で、人との距離が 2m以上保てるときはマスクを外して涼んでください。以下は厚生労働省発行のチラシです。健康に、日田の夏を乗り切りましょう！！

環境省
厚生労働省
令和3年6月

熱中症予防 × コロナ感染防止で

「新しい生活様式」を健康に！

「新しい生活様式」とは：新型コロナウイルス感染防止の3つの基本である ①身体的距離の確保
②マスクの着用 ③手洗いの実施や「3密」(密集、密接、密閉)を避ける。等を取り入れた日常生活のこと。

注意 マスク着用により、熱中症のリスクが高まります

マスクを着けると皮膚からの熱が逃げにくくなったり、気づかぬうちに脱水になるなど、体温調節がしづらくなってしまいます。
暑さを避け、水分を摂るなどの「熱中症予防」と、マスク、換気などの「新しい生活様式」を両立させましょう。

ウイルス
感染対策は
忘れずに！

熱中症を防ぐために マスクをはずしましょう

屋外で

人と2m以上

(十分な距離)

離れている時

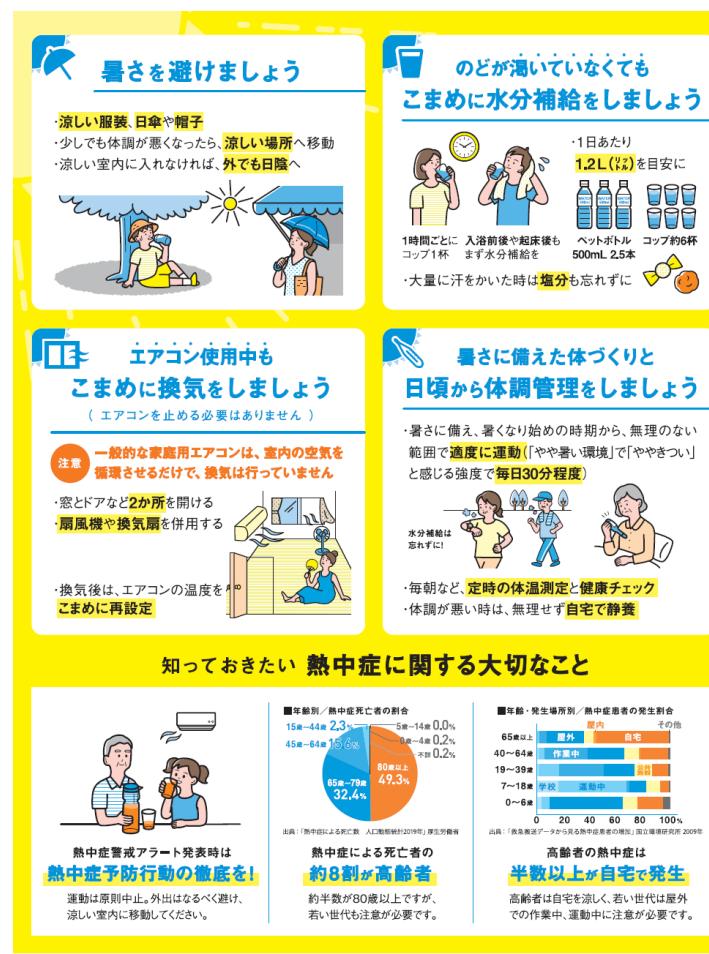
マスク着用時は

激しい運動は避けましょう

のどが渴いていても
こまめに水分補給をしましょう

気温・湿度が高い時は

特に注意しましょう



【地域のニュース】

小野地区社協 高齢者へのお花のプレゼント



7月初旬、小野地区社会福祉協議会から高齢者世帯の方にお花のプレゼントがありました。

大分県の新型コロナウイルス感染状況がなかなか改善されず例年7月に行われている「ふれあい会食交流会」が中止となつたため、「花を眺めて、少しでも和んでもう一回」と行われたものです。

様々な色の「リーガースベゴニア」が、社協の皆さんのお手分けで、配達されてきました。「お家が明るくなつたようで、嬉しい」と喜んでおられました。

6月末に、源栄町自治会の花植え作業が行われました。町内5か所の花壇に花が植えられていました。

5～6種類の花を植えますが、鹿がやつて来て食べてしまって、花壇にはアミ「がかぶせられます。「鹿が食べない花」を調べてみましたが、個体差や環境にもよるようで「絶対食べない花」というのが分かりませんでした。大きく育つて、地域の方々の目を楽しませてほし」と思います。

鹿に食べられませんように!」

源栄町 花植え作業



玄関のツバメは元気に育ち、無事に巣立っていきました！



まだ、羽がふわふわしている、小さな小さな幼鳥でした。

ある日、正面玄関引き戸の向こう側に、ツバメのヒナが巣から落ちていました。建物内から見ていると、親鳥もヒナの近くまで来て鳴きますがどうにもなりません。「」のままでは、野良猫やカラスに狙われてしまうかも…と心配になり、巣に戻してあげることにつきました。高倉センター長がヒナを新聞に載せて、そおつと巣に戻しました。狭い巣の中に5～6匹のヒナがいたので、うつかり落ちてしまつたようです。ケガもなく、7月初めには、みんな元気に巣立つていきました。